

手軽に作れるブログの普及で、webには個人発の情報が大量に流通しています。貴重な知識もあれば単なる思い込みもあって、まさに玉石混合。本当に信頼できるブログを見つけ出すのは簡単なことではありません。そこで頼りになるのがブログランキングですが、そのランキングは本当に信用できるのでしょうか？より精度が高いブログランキングを創出し、ブログの世界の発展を目指す中島伸介先生に、新たに生まれた様々なサービスとその仕組み、更に今後の展望についてお話を伺いました。



ネットワークメディア学科  
中島 伸介 准教授

# 熟知度判定により ブログの信頼性を評価する

## ブログ熟知度 ランキング

私たちはブログ熟知度ランキングという新しいブログランキングシステムを考案しました。特定の分野に詳しいブログを高い精度で判定し、ランキングにします。

仕組みは、まず、ブログでよく言及されるトピックから12,000程度の熟知グループを作ります。

次に、熟知グループに対して、共起度（一緒に現れる度合い）が高い単語を集めた共起語辞書を作ります。特定のキーワードにだけ共起度が高い単語を拾うように、どんなキーワードに対しても共起度が高くなる一般的な単語は重みを低くします。集められた単語は、共起度の高さに応じて重みをつけておきます。

ここからようやく、ブロガーの熟知度を判定する段階です。共起語辞書をもとに、熟知グループの共起語全てを検索し、記事内の共起語の重みと共起度をかけて合計します。そうして、一つ一つのエントリーを判定し、ブログ全体で総和をとって、ブロガーの熟知度を算出するのです。熟知グループや共起語辞書は常に更新し、熟知度の判定も対象期間や共起語の網羅率などで更に細かく条件をつけ、精度を上げています。

ブログ熟知度ランキングは2008年9月に共同研究先の「株式会社さぎざしカンパニー」の運営により一般公開して、既に相当なデータが溜まりました。成功した例だと言えるでしょう。

## Blogram 熟知度判定技術を応用した 自己ブログ診断

熟知度判定技術を更に発展させ、自分のブログを解析できるblogramというサービスも構築しました。blogramに登録すると、あるキーワードで検索したときの自分のブログのランクや、考えや好みといった「自分自身」の解析をしてくれます。

さらに、自分が書いたエントリーと同じような話題を扱うブログを自動的に表示してくれます。通常、他のブログや広告などを表示する推薦システムは、事前に興味のある分野を登録します

が、blogramではその必要はありません。自動的に興味関心を分析してくれるからです。

blogramによって、ブログの業界の更なる盛り上がり期を期しています。(blogramも「株式会社さぎざしカンパニー」により運営)

## 社会に役立つ 技術への応用

今、考えているのは、ニッチなトレンドの検索システムです。例えば特定分野のプロたちの間で何が流行っているのかなどを調べます。

大まかな仕組みは、熟知度判定と同じです。「流行」を多く書かれていることと捉えて、キーワードの出現回数に注目します。特定のグループの中だけで頻出するキーワードを取り上げ、一般の人の記事にも書いてあるキーワードは重みを下げていく。こうして、あるグループの中でだけ流行っているものを浮き彫りにします。

この検索は様々な利用価値があります。たとえば、世間ではバナナダイエットが流行ってい

るけれど、ダイエットグループ内でのトレンドはモロヘイヤダイエットだと分かれば、次は世間でもモロヘイヤが流行のだろうと予測が立つわけです。

応用は検索のみに留まりません。たとえば、一般的なアンケートでは、対象を属性を性別や年齢、居住区などで分類しますが、熟知度判定を用いれば、あるキーワードに対する詳しさを好みなどを用いて分類ができます。熟知度判定で得られたデータは、自己申告よりも客観的で信頼できるので、マーケティングなどにも十分な利用価値があると考えられます。

また、自動応答チャットシステムによって、会話しながら、何に詳しいか、何に興味があるかを解析することも検討しています。ブログを書かない人でも、機械とチャットをするだけで自動推薦のサービスを利用できます。このサービスを活用すれば、新たな社会貢献ができるかもしれません。このようにさまざまな分野で新しいサービスを創り出していきたいと考えています。

blogram <http://blogram.jp>



ブログ熟知度ランキング画面



ニュアンス比較表示部